

人々が織りなす 元気で快適な 活力あるまち



広報 さつま
2012

2
No.83



新年!! 決意も新たに
第59回新春泳ぎ初め

- 2 平成24年消防出初式
- 4 「こころの健康づくり対策検討会」の報告
- 6 第5期(H24~H26)介護保険事業計画策定中
- 8 さつま町成人式
- 9 久富木区公民館 栄えの受賞
- 10 まちのニュース
- 12 地域雇用創造推進事業の紹介
- 14 差押動産・不動産の公売実施状況
交通災害共済加入申込書が変更になります
- 15 まちの園芸作物紹介
保健師だより
- 16 外国人の新しい在留制度がはじまります
- 17 川内川激特
鶴田ダム再開発速報
- 18 暮らしの情報
- 21 がんばれ認定農業者
- 22 がんばれ！スポーツ少年団
- 23 誕生・おくやみ
1歳で~す
- 24 人・夢
休日在宅医・薬局

■表紙の写真説明

新年に決意も新たに
第59回
平成24年新春泳ぎ初め



1月1日、川内川宮都大橋上流の河川敷で、第59回新春泳ぎ初めが行われました。肌を刺すような寒さの中、約100人の参加者は次々と真冬の川内川に入水していきました。泳ぎ終えた参加者は、準備された焚き火とぜんざいで凍えた体を暖めていました。

防災への決意 新たに

平成24年消防出初式



末吉団長を先頭に堂々の分列行進

1月8日、新春恒例の「消防出初式」が宮之城総合運動公園で盛大に開催されました。

当日は、消防団員や幼年消防クラブなど約700人が参加して、分列行進や規律訓練、放水演習などを披露しました。また、永年その職務に尽力された消防団員に対する表彰状の伝達が行われました。

昨年は東日本大震災をはじめとする自然災害が全国各地で頻発し、多くの尊厳生命・財産が失われました。そのような中、消防団員の我が身をかえりみず行つた消火・救助活動など、懸命な姿に消防団の重要性を改



宮之城東部方面隊による規律訓練

めて認識させられました。

本町消防団もこのような災害を教訓に、安全安心なまちづくりの実現に向け、更なる防災強化に努めていくことが期待されます。

今回表彰を受けられた方は、次のとおりです。

◎消防庁長官永年勤続功労章 (2名)

(25年以上その職務に精励

◎鹿児島県知事表彰10年勤続 (32名)

(団員として勤続期間が10年に達したもので、かつ成績優良で他の模範となる者)

- 中央分団 藤崎勝也 虎居分団 中園昭男 川原分団 小牧尚徳 時吉分団 吉祥庵豊実・土屋健三 志分団 内山敬太・岸良剛 湯田分団 木場久彦・久保田仁 船木分団 原圃政秋 山崎分団 末吉克典 二渡分団 折小野省五 久富木分団 福永紀之 白男川分団 原田洋一・栗山雪生・坂元信一・富満幸一・東政博・井川和久 泊野分団 村田泰之 神子分団 中園政次郎 柏原分団 片野博光・南原武博 紫尾分団 西景勝・宮之脇淳一・舟倉直人 永野分団 上別府清治 求名分団 下境田公治・川内秀作 南求名分団 神圃和昭 中津川分団 植村義人・堂園竜也

◎消防庁長官感謝状(23名)

(15年以上勤続して退職した者)

- 団本部 萩木場光三・正岡貞光 中央分団 内山政文・黒木淳一 湯田分団 小緑繁 船木分団 紺屋園道 山崎分団 稲留末博・



可愛くも凛々しい幼年消防クラブの規律訓練

◎薩摩支部永年勤続(25年)表彰 (11名)

- (勤続年数25年以上の者) 中央分団 日高浩一・白石和也 虎居分団 井手原清美 船木分団 紺屋義盛 白男川分団 宮脇俊郎 神子分団 岩崎光義・高嶺康貴 紫尾分団 神野眞 永野分団 笹田正一・川口正成・岩元涼一

◎薩摩支部永年勤続15年表彰 (19名)

- (勤続年数15年以上の者) 虎居分団 木場光則 柊野分団 前野孝之 山崎分団 末吉良二・新留優二 二渡分団 折小野幸博・原正弘・折小野善幸・水流辰朗 久富木分団 濱田悟 平川分団 杉元吉弘 白男川分団 栗山繁・井川幸一 谷口三昭・原田昇 神子分団 木場浩幸 求名分団 松尾秀樹・前田久雄・豎山秀樹 中津川分団 森重利夫

◎さつま町長表彰(31名)

- (勤続年数10年以上の者) 中央分団 藤崎勝也 虎居分団 中園昭男 川原分団 小牧尚徳 時吉分団 吉祥庵豊実・土屋健三 志分団 内山敬太・岸良剛 湯田分団 木場久彦・久保田仁 船木分団 原圃政秋 山崎分団 末吉克典 二渡分団 折小野省五 久富木分団 福永紀之・上村良平 白男川分団 原田洋一・栗山雪生・坂元信一・富満幸一・東政博・井川和久 泊野分団 村田泰之 神子分団 中園政次郎 柏原分団 南原武博 紫尾分団 西景勝・宮之脇淳一・大



ラッパ隊も日頃の練習の成果を披露

◎全国消防協会功績章

(功績章につぐ成績優良なもので、勤続15年以上の者)

白男川分団 諏訪勉 泊野分団 川平光広 柏原分団 中島幸二 紫尾分団 上之原主弘 求名分団 竹之内重則・瀬戸繁 中津川分団 永江正伸

真悟・中窪啓二・松山明浩 求名分団 下大迫六十四 谷山秀雄 中津川分団 富森栄充・堂園竜也・植村義人

◎全国消防協会功績章

(功績章につぐ成績優良なもので、勤続15年以上の者)

市野恵二・東恭一・井上 斉・田中俊朗・今西信一・ 下村晴彦・遠矢清志・原田 弘美・藤田慎一

◎薩摩支部永年勤続章(15年)

(10年以上勤続して退職した者)

団本部 萩木場光三・正岡貞光 中央分団 内山政文・黒木淳一 佐志分団 寿福純義 湯田分団 小緑繁 船木分団 紺屋園道・北野勇一 山崎分団 稲留末博・末吉和広・吉永一昭 二渡分団 祝迫清・加藤雅司 平川分団 小椎八重寛 泊野分団 楠八重盛光 神子分団 栗牧伸一 紫尾分団 上之原久男・上之原主弘 永野分団 三浦次雄・木下雅博・黒瀬陸朗・ 藤野博文・井上正角・緒方



幼年消防クラブ「防火の誓い」の敬礼



キビキビとしたポンプ操法

「みんなの健康づくり対策検討会」の報告（健康増進課）

さつま町のみんなの人生が、「こんな人生だったら幸せだろうな」と思う姿と、それに向かって何ができるかを「この健康づくり」の面から話し合いました。

検討会の状況

- **参加者**
町内の中から、おのこの職種・役割を担う方、39名にお集まりいただきました。
- **開催回数**
平成23年10月26日から6回
- **検討会では**
5グループに分かれて、6回ともグループワークにて、「この健康づくり」について話し合いました。

「この健康づくりに取り組む必要性を感じるさつま町の現状」

- **自殺率が高い**
特に男性、また50歳以上からの自殺者が多い傾向にある。
- **気になる行動の子どもの増加**
子どもの苦手な部分やアンバランスな面が周囲の関わり方によって助長されると、引きこもり等の心理的な不安定さや非行等反社会的な行動につながりやすい。
- **不登校の出現率がやや上昇**
- **女子の不良行為が増加**

- **低出生体重児の増加**
母親のストレスが要因の一つであることや低出生体重児で生まれた子どもの約半数が気になる行動の子ともである。

検討会を終えて

参加者の皆さんは、毎回グループワークという慣れない中で、作業を熱心に取り組んでくださいました。皆さんが「さつま町も人とのつながりが薄れている」という思いでいらつやつたことを強く感じました。作業を通して、住民の方々が一緒に取り組むことの素晴らしさと、語らいや作業をされる姿がとても印象的でした。



未成年

参加者が思う現状

- ・（人間関係）
自分中心で行動し、気に入らない事に不満が出る
・相談できる人がいない
・人の悪口を言う
・人に関心を持たない
・（家庭環境）
・大人の教育熱心
・親の愛情をもっと受けたい
・（社会環境）
・学校・勉強（成績）・ストレス
・食の安全
・将来への不安（入試・就職）

青壮年

参加者が思う現状

- ・（生活環境）
・生活リズムの乱れ
・時間に追いかける生活
・住民性が優しくそれがおせっかいとも受け取れる
・（人間関係）
・自分中心で行動し気に入らないことに不満がでる
・人の悪口を言う
・人に関心を持たない
・（金銭関係）
・高収入が得られる仕事が少ない
・経済問題（お金・借金）
・（仕事関係）
・仕事についていけない
・仕事（人間関係・ノルマ・期限）
・失業者が多い

高齢者

参加者が思う現状

- ・（生活環境・孤独感）
・社会とのつながりが少ない
・一人暮らしで話し相手がない
・話し相手がほしい人が多い
・子どもが近くにいない
・不安を感じている
・同居老人が多い
・一人暮らしが多く外出しようとしにくい
・（生活環境・追干渉）
・人に関心を持ちすぎ、とやかく言う
・（健康問題）
・健康（病気・痛さ）
・年金生活で病院へ行くお金がなく、思うように病気を治せない

幸せな人生の姿
おいしく食べることができ、感動する心や楽しみをもち、思わず鼻歌を歌いたくなる生活を過ごしたい。
そして、家庭円満で人にも幸せな気分を与え、いつでも相談でき、助け合える仲間がいる人生を送りたい。

対策

地産地消で手軽に朝ごはん
さつま町で取れたものを使って、手軽に朝ごはんができる加工食品の開発・販売をすすめる

目標

早寝早起き朝ごはん運動を知っている人を増やす
早寝早起き朝ごはん運動を実践する人を増やす

対策

親子で楽しむ会
学校ボランティア活動
・調理・体操・読書・リフレッシブ活動
・子ども達の安全確保のための通学路の巡回
・散歩やウォーキングを兼ねた見回り
・子ども達と協力団体との交流

目標

思いやりのある親を育てる
悪いことは悪いと言える親を育てる
物事をはっきり言える親を育てる

対策

ちくりん公園に花菖蒲を復活させる会
サロン活動の充実
ボランティア「遠慮なく」運動
青空のもとみんなで昔ながらの遊びで交流
・花菖蒲の勉強会・花植え・菖蒲祭り等のイベント開催・会員の親睦
・地域で支えるサロン活動
・不参加の方々への声かけ隊
・簡単な料理一品持参
・公民会の高齢者を公民会のみんなが把握できる
・年齢を問わず、陣取り・缶けり
・竹細工・紙飛行機で交流
・あいさつを一回でも増やす

目標

高齢者を（特に男性）を引っ張り出す
サロンへの男性を増やす
見守りする人を増やす
地域で独居老人を把握する
色々な世代の人とのふれあい
やコミュニケーションの機会をつくる



参加者の皆さま、ありがとうございました

第5期（平成24年度～26年度）

介護保険事業計画策定中

介護保険事業は平成12年度から制度化され、市町村ごとに3年間の保険事業の総額を推計して事業費用に基づく保険料を定めてきました。

現在、平成24年度から向こう3年間を一期とする第5期介護保険事業計画を策定するため、町内の保健・医療・福祉関係者、1号・2号被保険者を委員とした計画策定委員会を設置し、会議を進めています。

第1回策定委員会では、平成21年度から第4期介護保険事業の実績と介護認定の状況や、サービス利用の実態と課題・今後の介護予防や地域包括ケアの考え方などを、第2回策定委員会では今後の高齢化や介護認定の推計、これに伴う給付費用の増加や報酬改定があつた場合の保険料の推計額などを説明いたしました。

1号被保険者：65歳以上
2号被保険者：40歳～64歳

第4期事業は月額3,000円の保険料不足見込み～4,500万円の借入

第4期計画では、国の平均費用とほぼ同等の保険料（町/4,100円・国/4,160円）や事業費用

を見込み計画を定めましたが、実績見込みでは3%の報酬改定や高齢化に伴い、介護認定者も増え、給付費用の伸びが計画を大きく上回る見込みにあります。

具体的には下表に第3期・第4期の計画に対する実績や実績見込み額を掲載しましたが、第3期計画では、月3,800円でほぼ計画どおり100.4%の実績になりました。

しかしながら第4期計画においては、報酬改定や給付の自然増もあり75億5千万円の計画に対して79億円超となる105%の実績が見込まれます。実質の保険料を試算すると、300円不足していたことになり、4,400円程度必要だったことになりました。

このため不足する財源については制度上、県の基金から4,500万円程借り入れることとなります。

この借入金は、第5期計画期間の3年間で保険料に上乗せされ、返済することになります。

1号被保険者の介護保険料は、前年度所得に応じて段階（実質6段階）を設けて、標準保険料の2分の1から1.5倍まで算定されます。

さつま町の介護認定状況

- ◆認定者 1,835人/23年3月現在・(65歳以上に占める割合)認定率 21.7%
- ◆認定者の内訳
 - ・男女比/男25%、女75%
- ◆一般高齢者の年齢別認定状況
 - 前期高齢者(65～74歳) 4%
 - 後期高齢者(75～79歳) 13%
 - (80～84歳) 29%
 - (85歳以上) 57%
- ◆サービス利用者
 - 1,495人/認定者の81.5%
- ◆認定者の平均年齢
 - 84.2歳/男81.9歳、女85.1歳

23年度財政運営	対予算 99%
執行見込み	
県からの借入	4,500万円
返済3年間/各年1,500万円/月180円/人	

第4期(平成21年度～23年度)

○計画期間におけるサービス給付の実施状況 単位：千円

区分	第3期計画 3,800円/月			第4期計画 4,100円/月		
	H18	H19	H20	H21	H22	H23
介護給付費実績(予算)	2,281,279	2,346,039	2,406,669	2,549,863	2,637,013	2,748,576
前年対比	99.78%	102.84%	102.58%	105.95%	103.42%	104.23%
介護給付事業計画額	第3期介護保険計画 7,003,034			第4期介護保険計画 7,555,431		
年度毎計画額	2,333,152	2,333,084	2,336,798	2,475,808	2,516,057	2,563,566
実績比較/計画	97.80%	100.60%	103.00%	103.00%	104.80%	107.20%
全体実績/比較	第3期合計 7,033,987			第4期合計 7,935,452		
	100.40%			105.00%		

注) 第3期及び第4期の平成22年度までは決算に基づく実績
平成23年度分は予算(当初)額による

第4期計画期間の実質保険料 +300円→4,400円 (1号保険者の負担割合20%)

さつま町の認定原因

1位	脳卒中	28%
2位	関節疾患等	22%
3位	認知症	18%
4位	骨折・転倒等	15%
5位～8位	心臓病、難病(パーキンソン病ほか)、精神疾患、その他	3～5%

保険事業の現状と将来の見込み
さつま町の介護サービス利用は、認定者の全国平均とほぼ同じ81%ですが、入所施設(580床)はほぼ満杯状態にあつて、特別養護老人施設などの入所待機状態が続く、在宅の中重度者のショートステイ利用も空き待ちの状態にあるなど、必要なときにサービスを使えない状況が続いています。

また在宅の認定者が1千人近くあり、うち中重度者が330人程度と比較的多く、在宅サービスが増加している状況にあります。

本町の場合、介護認定の平均年齢は84歳で、現在は戦前の昭和・桁世代が介護の中心にあります。今後、戦中世代を経て戦後の団塊世代が介護の中心になると見込まれる20年後位まで、介護の需要は続くことが予想されます。

介護度別サービス利用の状況と入居待機者数

区分	サービス利用者						認定者数	未利用者	施設入所待機者
	在宅介護	グループホーム等	介護養護老人ホーム	老人保健施設	療養型	合計			
軽度者 565人	要支援1	189	0	0	0	189	277	88	226
	要支援2	188	0	0	0	188	263	75	
中度者 328人	要介護1	188	20	1	3	212	250	38	
	要介護2	220	41	13	18	292	335	43	
	要介護3	108	28	28	46	210	236	26	
重度者 101人	要介護4	71	15	83	29	203	239	36	
	要介護5	30	6	114	30	201	235	34	
合計	994	110	239	126	26	1,495	1,835	340	
比較	54.20%	6.00%	13.00%	6.90%	1.40%	81.50%	100.00%	18.50%	

介護度別在宅者

第5期事業計画では
このため第5期計画では、どこまで入所施設の整備を図り、求められる介護サービスに柔軟に対応できる受け入れ体制を作れるかが課題となっています。

同時に、介護予防を重点的に進めて認定率を下げる取り組みや、独居高齢者や夫婦二人世帯が増加する中で、家族介護者がいない介護認定者や在宅介護者への取り組み、地域における見守り支援等の介護福祉の仕組みなど地域包括ケアの体制作り、今後増加が予想される認知症高齢者への対策など、在宅高齢者に対する取り組みが課題となります。

24年度以降の介護保険料 国の平均を上回る改定必要

今回の介護報酬は1.2%のプラス改定となり、また1号被保険者の負担割合が1%増加するため、国の平均でも月額千円以上の値上げが見込まれています。さつま町においては、実質国よりも費用がかかっていますので、県からの借入額の返済分を加えると国の平均額を上回ることが見込まれます。

このため介護保険事業への理解を求めながら地域包括ケアの体制作りをすすめる、より一層のサービス利用の適正化を図る必要があります。

策定委員会の審議では

〈第1回策定委員会〉
Q さつま町内の介護施設はとも満床か?
町内に3施設あるが各施設とも多数の待機者がある。入所待機者は要介護度3以上が中心だ。

Q 保険料を払う義務は果たしているがサービスを受けられないことに不満がある。介護者のいない人から入所させて欲しい
事業所では介護者の有無や介護度合いによって優先順位を考慮している。

Q 施設増床には補助金があるのか?
国は在宅介護が基本である。介護ニーズはあるが増床への補助金はない。増床しても職員の質が低下する懸念もある。

〈第2回策定委員会〉

Q 高齢化の現状から認定の見込みはどうか?
高齢者は減少してきているが独居高齢者が増加しており認定者数も増えている。これは後期高齢者人口が多いことなどから認定率も高い。

Q 介護予防の取り組みは?
介護予防は拡充したい。ポランティアポイントを目玉にした介護支援ボランティアも取り組みをはじめ。ケアマネの協力も必要。

Q 介護の原因疾患では男性の場合40%が脳卒中だ。対策が必要だが町民の意向を踏まえ自由な企画があっても良い
地域包括支援センター等を中心に柔軟な対応に心がけたい。

Q 地域包括ケアシステムは地域に踏み込んだ施策展開が必要。介護保険に対する理解も希薄だ。若い人や保険料を納付する現役世代、高齢世代にそれぞれ広報すべき
そのように心がけたい。

Q 保険料が高額になると負担が大き。高齢者の生活にたつた保険料を考えて欲しい
所得段階に応じて2分の1から1.5倍まで定められている。制度的にはサービスと負担は対になる。理解を得られるよう対応したい。



大人の仲間入りを祝う

さつま町成人式

オープニングでは

「第1回中学校校歌歌合戦」

1月4日、町成人式が宮之城文化センターで行われました。対象者290人中235人が参加し、関係者に見守られ大人の仲間入りの祝福を受けました。

今回の成人式は、17人で組織された実行委員会が運営し、昨年からの仕事などの合間に何回も話し合いを重ね、当日を迎えました。

式のオープニングでは、参加者が各出身中学校の校歌を斉唱する「第1回中学校校歌歌合戦」が行われました。

また、「恩師のことは」として6人の恩師の方々が新成人の門出を祝いました。



宮之城中学校の参加者



鶴田中学校の参加者



山崎中学校の参加者



校歌歌合戦で優勝した薩摩中学校の参加者

成人式 Q & A

一生に一度となる成人式で縁の下の力持ちとなって活躍してくれた実行委員の皆さんにとって、成人式とはどういうものだったのでしょうか？

Q1 実行委員をする前の成人式に対するイメージはどうでしたか？

・人数が多いので、わいわいがやがやして、終わるまでさうままだと思っていた。話を聞いているのが辛い、長いと思っていた。

・ただ話を聞くだけの式典というイメージでした。

Q2 実行委員をやり遂げた後の成人式のイメージはどうでしたか？

・オープニングの校歌は、初めての試みでしたが、一人ひとりが力を合わせ、各校の特色が出る良い企画だったと思います。ぜひ来年も続けて欲しいです。また、恩師からのメッセージは、とても心にひびきました。中学校の頃を思い出しながら聞くことができ、成人を迎えたんだと実感しました。

Q3 実行委員を経験して何が変わりましたか？

・式のすべてを自分たちで進行・運営したわけではないが、実行委員としてやらなければいけないことに対

して、責任を持ってやれた。これからは、人を頼りにしてばかりではいけないと思った。

Q4 実行委員を経験してよかったことは何ですか？

・みんなで成人式をいいものにしたという気持ちになり、協力し合いがなされたこと。

Q5 来年(平成25年)に成人式を迎える方へメッセージをお願いします。

・やりきったときの達成感みたいな感じが最高！心に残る成人式になるから是非実行委員、体験すべき。



成人式実行委員の皆さん

久富木区公民館 栄えの受賞に輝く

(財)日本農林漁業振興会 会長賞を受賞

12月26日、平成23年度(第50回)農林水産祭のむらづくり部門において、「(財)日本農林漁業振興会会長賞」を受賞された久富木区公民館長の満留民雄さん、前館長の田中伸一さん、元館長の末永忍さんが町長室を訪れ、日高町長に受賞の報告をされました。

農林水産祭は毎年行われており、今回は平成22年8月から平成23年7月までの1年間に開催された農林水産祭参加行事において、農林水産大臣賞を受賞した453点の中から、農林水産祭中央審査委員により7部門別に三賞(天皇杯、内閣総理大臣賞、日本農林漁業振興会会長賞)が選ばれ、明治神宮会館で表彰が行われました。

久富木区公民館の今回の受賞は、次のような取り組みが高評価を得ています。

住民の90名を区議員として委嘱し、むらづくり活動への参加体制が構築されている。

農業生産面では、直売所「べっぴん市場」を運営し、地元で生産された野菜や米などの販路拡大や高齢者の生きがいに寄与している。また、地域のたけのこの生産や竹を利用した新たな商品の拡大に努めている。

生活・環境整備面では、平成7年から毎月全戸に配布されている「久富木区新聞」は、むらづくり活動の周知、合意形成に大きな役割を果たしているとともに、現在まで193号を数える長期継続と努力は他に類を見ず賞賛に値する。

また、「十年後に桜を観る会」を立ち上げ4年間で地区内に一千本を超える桜の植樹、ゴミのポイ捨て対策の「小さな赤い鳥居作戦」、環境保全活動の参加者へ地域通貨「ユイ券」の発行、4年に一度開催される「おはんが一番久富木大賞」による人材の発掘、「久富木ぴんコロ村一宿一飯活動」などの都市農村交流活動等、ユニークなネーミングによる活動に意欲的に取り組んでいる。

新聞配布や桜の植樹で生まれた出郷者との新たな交流等新規性のあるむらづくり活動を展開している。

新聞配布や桜の植樹で生まれた出郷者との新たな交流等新規性のあるむらづくり活動を展開している。

新聞配布や桜の植樹で生まれた出郷者との新たな交流等新規性のあるむらづくり活動を展開している。



県道沿いに設置されている「べっぴん市場」



久富木区のいたるところに設置されている赤い鳥居



久富木ぴんコロ村一宿一飯活動の一場面



受賞報告終了後の和氣副町長、末永忍さん、満留民雄さん、田中伸一さん、日高町長(左から)

以上の取り組みは、人口減少社会において新たな地域コミュニティのあり方が求められる中、地域住民に最も近い自治組織としてのモデルになるとともに、他市町村の地域支援・リーダー育成の模範となったことが、今回の栄えある受賞となったものです。

満留公民館長さんは、「今回の受賞を機に更に進化するむらづくりを進めたい」と熱い思いを話されました。



多くの見物客の前でエイサーを披露する柗野小学校児童

多くの人でにぎわう 宮之城暮市

12月27日、宮之城暮市が、盈進小学校前町道で開催されました。通りは、多くの露店が連なり、また、宮之城屋敷と虎居商店街では、百縁祭（百円商店街）も催されました。今回の暮市では、毎年9月に柗野地区で行われる、ひがんな花祭りの様子を再現した、「柗野ひがんな花まつり」観光ガイドとエイサー踊りが、柗野小学校児童により披露されました。暮市や百縁商店街、そして柗野ひがんな花まつり観光ガイドとともに多くの人で賑わいました。



出発前の隊員の方に流水小学校児童から花束の贈呈

地域の安全安心を 湯田区青パト出発式

1月20日、流水小学校校庭において湯田区の「青色パトロール隊」の出発式が行われました。今回湯田区では、地域元氣再生事業の一環として、各公民会から「青色パトロール」として、地域住民の方が自己車両を提供し、計5台で隊を結成されました。出発式で流水小学校の宮内良平校長は、「今回の結成は子どもだけでなく地域の高齢者にとってもありがたいことです。湯田区の活性化に向けて元気の源になってください」と話されました。

よこごさつしまへ 修学旅行生受け入れ

12月11日、12日、さつま町グリーン・ツーリズム研究会では、2回目となる修学旅行の受け入れを行いました。今回の受け入れは、広島市の城南中学校2年7組の32人の生徒の皆さんで、11日の夕方に入来し、11軒の受け入れ農家に3〜4人ずつに分かれて宿泊しました。2日目は、筒掘り、梅加工いちご・みかん・キンカン栽培作業、野菜苗植え・収穫などの農業体験を行いました。宿泊した生徒の一人は、「今度は家族でさつま町に来てみたい」と話しました。受け入れた農家の方は、「素直な子ども達で、孫が帰省したような気持ちで笑い声の絶えない楽しい時間を過ごせた」と話していただきました。



城南中学校修学旅行生と受け入れ農家の皆さん



講師のZAKさん中心に作品を持つ柗野小学校児童

スプレーアートを体験 柗野小学校

1月20日、柗野小学校において、スプレーアート体験が行われました。この日は、表現力、コミュニケーション能力の向上を図るための取り組みとして「かごしま子ども芸術センター」の協力で、垂水市在住のスプレーアーティストのZAK（ザク）さんを講師に迎え実施されました。スプレーアートを体験した柗野小学校6年生の大野千尋くんは、「初めての体験でも面白かった。みんないい作品ができていた」と感想を話してくれました。



須杭丘山頂での記念撮影

さつしまの日を实践 須杭子ども会育成会 初日の出

毎年元日の朝に行われている二渡区須杭公民会の恒例行事「初日の出」が、須杭子ども会育成会20人の参加により実施されました。この行事は、50年以上前から行われていて、須杭公民会では、先人たちの築いてきた伝統と歴史を後世に引き継ぐ大意義のある行事と位置づけられています。参加者は、元日の朝6時に須杭公民館に集合し、須杭丘までの片道約2キロの道のりを歩いて登り、初日の出を参拝し、新年の抱負や決意を新たにしていきました。

初稽古後に空き缶拾い

1月8日、少林寺拳法宮之城道院の拳士が鏡開きと空き缶拾いを行いました。この日は、さつま警察署道場で初稽古を行ったあと周辺の道路脇の空き缶やゴミ等を拾い集めました。このイベントは、今回で17年目になります。



集められた空き缶と拳士の皆さん

サロンで五山寺巡り

1月16日、ふれあいサロン虎居町では「五山寺巡り」を実施されました。この日一行は、町内にある上宮山信教寺、高野山峰浄寺、紫州山光善寺、紫峰山三光寺、樹閣山善妙寺の5つのお寺を巡りお参りをされました。幹事の「ツツ木悦男さんは、「行く先々のお寺さんがとても気持ちよく対応してくださって、心洗われるものがありました」と話されました。

餅つき大会 中央公民会

12月18日、宮之城地区の中央公民会で、恒例の餅つき大会があり、地域の子どもからお年寄りまで参加し、餅つきを楽しみました。つきあがった餅には、あんこが詰められ、地域にある大前神社へ供えられ、地域のみんなで年の瀬を祝いました。



餅つきを楽しむ子ども達

統計功績者表彰

統計調査の指導員・調査員に御尽力いただいた方々が次のとおり表彰されました。（敬称略）
総務大臣表彰
前園 義広
（平成22年国勢調査指導員）
鹿児島県統計協会会長表彰
東條 さつえ
（各種統計調査調査員）



総務大臣表彰を受けられた前園義広さん

冬至にゆず湯 湯田区営温泉

12月22日と23日の両日、湯田区営温泉の浴槽が約5,000個の「ゆず」で埋め尽くされました。管理人の得永明弘さんは「今回は5回目になります。今では毎年楽しみにしてくるお客さんがはるばる県外から来てくださいますので、これからも頑張っていきたい」と話されました。



浴槽いっぱいのゆずを楽しむ入浴客

レクリエーション青年団？ 第2期アイビス倶楽部メンバー募集

～◆一緒に仲間づくりをしませんか！◆～

- 入会条件 年齢20歳から35歳くらいまでの独身男女
男性：さつま町または伊佐市にお住まいかお勤めの方
女性：エリアは問いません
募集人数は男女各25名（定員に達し次第締め切らせて頂きます）
- 活動内容 春には霧島トレッキング、夏には河原でバーベキュー大会 etc
クラブ活動を通して楽しみながら仲間を増やしませんか？
活動日は主に土・日・祝日を予定しています
活動には1日当たり2,000円～3,000円程度の費用が必要となります。
- 入会金 1,500円（※2年間有効）
- その他 第1期は3組のカップルが誕生しました。



写真はイメージです

○お申し込み・お問い合わせ先
アイビス倶楽部 事務局
（インターナショナルゴルフリゾート京セラ内）
Tel 0996-57-1313

○お問い合わせ先
さつま町役場企画課地域振興係
Tel 0996-53-1111
（内線2226）

地域雇用創造推進事業の紹介

さつま町で働きたい求職者と、人材を採用したい事業主、起業・創業を考えている人たちを応援します。

■地域雇用創造推進事業とは...

地域雇用創造推進事業が、平成23年12月からスタートしました。この事業は厚生労働省からの委託事業として、「地域経済の活性化」・「雇用機会の創出」を目的とし、就業・起業・創業に役立つ講座、セミナーを開催し、地域での「人材確保」・「人材育成」といった雇用創造に係る取り組みを行っています。

■どんなメンバーで構成されているの...

さつま町雇用創造推進協議会	
構成員	役職
さつま町	町長
さつま町商工会	会長
さつま町観光協会	会長
北さつま農業協同組合	代表理事組合長
北薩森林組合	代表理事組合長

※市町村や地域の経済団体で構成されています

■事業実施期間は...

2年4か月となります
 (平成23年12月1日から
 平成26年3月31日まで)

■事業内容は...

地域の特性を生かした重点事業分野を設定し、地域の創意工夫による次の雇用対策事業を策定、実施するものです。

- ①雇用拡大メニュー(事業主向け) 事業の拡大、新事業の展開等を支援することにより、地域の雇用機会の拡大を図る。
- ②人材育成メニュー(求職者向け) 地域で求められている人材を育成することにより、地域の雇用機会の拡大を図る。
- ③就職促進メニュー 右記①②のメニューを利用した求職者・事業主などを対象に地域求職者の就職促進を図る。

■事業の実施主体は...

さつま町雇用創造推進協議会
 〒809518003
 さつま町宮之城屋地156512
 (さつま町役場 商工観光課内)
 電話(53)1995
 FAX(53)1996

※現在、屋地楽習館内の会議室に事務所を設置してあります。



セミナー受講でスキルアップを図り、就業、起業、創業に繋げよう!



求職者・事業者向けのセミナーを準備しました

(平成23年度～25年度までに実施するセミナーを紹介します)

<受講料無料>

事業メニュー	内容	実施年度		
		23	24	25
雇用拡大メニュー				
農商工連携交流セミナー	・生産から販売まで、そして、新商品開発などのノウハウを習得			
企業及び農家の相互の現場見学会	・異業種から農業への参入について、これまでの成功事例について意見交換会などの実施			
企業等農業参入セミナー	・異業種からの農業参入を始めたい方必講のセミナー			
農業生産法人設立セミナー	・法人設立のノウハウをわかりやすく説明			
人材育成メニュー				
女性起業家セミナー	・成功した女性起業家の講話で、あなたも、女性起業家のひとりに!			
ビジネスプラン作成セミナー	・創業、起業までのプランをわかりやすく説明			
創業・起業ステップアップセミナー	・法人設立支援相談もたっぷり時間あります			
町内の農業生産法人や大型農家を受け皿とした生産技術研修	・大型農家、生産法人を見学しノウハウを習得			
農業経営及びマーケティングセミナー	・自分たちが作った農作物の流通、販売まで実地研修を交えながら習得			
未利用の梅園等を利用した、梅の栽培技術習得セミナー	・梅の栽培技術、生産技術の習得			
遊休竹林等を活用した竹林改良技術等の技術習得セミナー	・遊休竹林を活用し、タケノコの生産等の習得			
農産物加工グループ育成セミナー	・加工品の開発、加工グループの育成			
基礎から学ぶITセミナー	・職場で使えるパソコンの技術習得			
販路促進ネット活用セミナー	・インターネットを利用した販路拡大のノウハウを持った人材を育成			
キラリ輝く店舗づくり、販売促進セミナー	・特徴のある自分だけの店を作る技術、ノウハウを習得			
スポーツ合宿コーディネーター人材育成セミナー	・あなたもスポーツ・観光コーディネーターに!			
グリーン・ツーリズム農家育成セミナー	・グリーン・ツーリズムの発展・拡大を図るための受け皿となる農家の育成			
観光ガイド育成セミナー	・さつま町の観光ガイドができる人材の育成			
名物「ホタル舟」の棹差人材育成セミナー	・さつま町の名物である「ホタル舟」の棹差しの技術習得			
就職促進メニュー				
雇用情報パンフレット作成事業	・さつま町の雇用情報を全国へ発信!			
全国規模でのUIターンフェア等への参加	・全国から「魅力ある町さつま町」へ呼び込もう			

さつま町雇用創造推進協議会のホームページで、このセミナーを紹介していきます。 <http://satsuma-koyou.com>

差押動産・不動産の 公売実施状況

税務課では税負担の公平を図るため税金滞納者の預貯金・給与・自動車・不動産等の差押や居宅内の強制捜索による動産類の差押など厳正な滞納処分を実施しています。本年度実施しました公売の結果を次のとおりお知らせします。

●インターネット公売

開催期間 平成23年7月19日(金)午後1時
31日(日)午後11時
公売件数 10件(芋焼酎「紫美」、薩摩焼湯呑ほか)
落札件数 10件
落札金額 87,750円

●北薩地区県・市町合同公売会(本年度から開催)

参加団体 鹿児島県北薩地域振興局
薩摩川内市、出水市、さつま町
開催日 平成23年11月20日(日)
開催場所 薩摩総合運動公園グラウンド
(さつまフェスタ会場内)

●不動産公売

開催日 平成23年12月2日(金)
開催場所 役場本庁東別館3階会議室
公売件数 7件(田4筆、畑2筆、山林1筆)
落札件数 3件(田2筆、山林1筆)
落札金額 1,633,080円



落札額 50,100円

税金は住民の皆様の暮らしを支える大切な財源です。期限内にきちんと納税されている方々との公平性を保つため、今後においても給与の一齐差押など厳正な滞納処分に努めます。

税金は納付期限内の納付が原則です。期限内の納付が困難である場合は必ず税務課で納税相談を行ってください。
〔お問い合わせ〕 税務課 収納第1係、収納第2係
(内線2113、2114)

さつまの ポテンシャルを 引き出せ!

まちの園芸作物紹介④

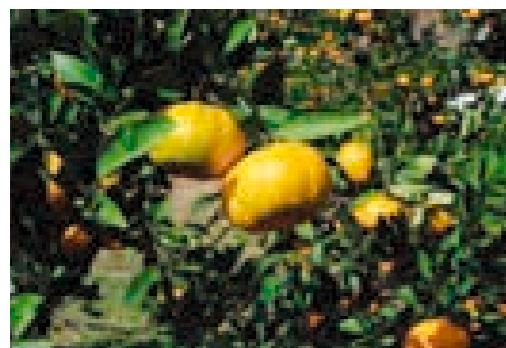
じゅうまんうんしゅう 十万温州



本町の佐志地区、新生団地で栽培されている「十万温州」は、高知県香南市の十萬可章さんの農園で発見された晩生品種で、味は良いものの強い隔年結果性があることから栽培が難しく、全国でも一部の地域でしか生産されていないことから「幻のみかん」と呼ばれています。

おいしい理由

貯蔵性に優れており、熟成することにより味が増し、コクのあるみかんに仕上がることから「貯蔵みかんの王様」ともいわれ人気があります。また、新生団地の土壌は



赤土で、おいしいみかんが出来る適地だといわれています。

安全安心へのこだわり

平成17年12月には、消費者の安心と信頼を確保するため、県が定める基準に沿って、生産・記録・点検・改善していく取り組みである「かごしまの農林水産物認証」制度を取得し、安全で環境に優しい栽培に努めています。

隔年結果性
成り年(表年)と不成り年
(裏年)を交互に繰り返すこと
お問い合わせ先
農政課 農産園芸係
(内線2424)

こんにちは保健師です 健康さつま21 ~お口は健康の入り口です!~

お口の清潔は、全身のさまざまな病気、肺炎やインフルエンザの予防にもつながります。お口の健康はカラダの健康につながります。

「お口の健康あいことば(あ・い・う・え・お)」を覚えて、毎日の生活に役立てましょう。

あ : 朝・昼・夕食 よく噛みましょう!

よく噛むと唾液の分泌がよくなり、口の乾燥を防ぎます。また、よく噛むと脳が元気になり、肥満や生活習慣病を防ぎ、ストレス解消にもなります。

い : 入れ歯のお手入れをわすれずに!

入れ歯を細菌の温床にしないよう、1日1回は、はずしてよく洗いましょう。

う : うがいの水は少してOK!

歯磨きあとの「ぶくぶくうがい」は少量の水でも大丈夫。もしも、歯ブラシがないときは、食事の後、少量の水やお茶で「ぶくぶくうがい」をするだけでも、食べかすはとれます。

え : 笑顔や会話もお口の運動!

笑ったり、おしゃべりもお口の機能アップになります。

お : 大きなあくびと深呼吸

口を大きく開けてあくびをすると、お口や頬の周りの血液循環がよくなります。また、深呼吸はカラダの緊張をほぐし心がリラックスします。



平成24年度から 交通災害共済の申込書が変更になります

さつま町指定金融機関等での納付が可能となりました

安い
掛け金

大きな
補償

■加入申込書

平成24年度加入申込書は次ページ下段の見本の通り、圧着式のはがきタイプとなります。

■納付場所

旧	新
<ul style="list-style-type: none"> 役場本庁及び各支所 町県民税申告会場 (旧宮之城地区のみ) 	<ul style="list-style-type: none"> 役場本庁及び各支所 北さつま農業協同組合 鹿児島銀行 ・南日本銀行 鹿児島信用金庫宮之城支店 鹿児島興業信用組合宮之城支店

■加入資格□

- ・さつま町に住居登録又は外国人登録をしている人
- ・学校への通学等一時的に転出される方で町長が認める人

■掛け金 ・年間一人500円

■共済期間

- ・4月1日から翌年3月31日まで
(4月1日以降に加入した場合は加入翌日から翌年3月31日までです)

■請求の対象となるもの □

- ・電動カー・自転車・バイク・自動車・トラクター等での道路運行中の交通事故に遭われて、それが原因で身体に傷害を受けた場合

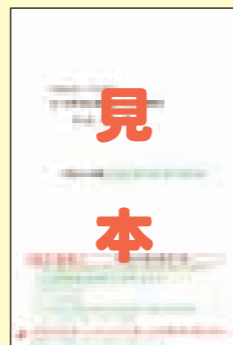
■加入申込書配布予定時期□

- ・2月中旬ごろ

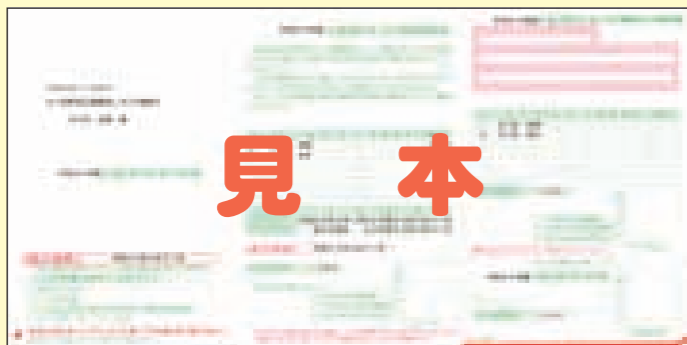
■注意点

- ・今年から町県民税申告会場(旧宮之城地区)では受付を行いません。
 - ・加入者及び金額に変更のある場合は、さつま町役場本庁または各支所でお申し込みください。
 - ・領収(日付)印のないもの及び金額を訂正したものは無効です。
 - ・見舞金の請求期限は、事故発生日から2年以内です。
- まだ請求をされていない方は、役場担当窓口までお越しください。
- ・納入期限は3月31日までですが、納入期限が過ぎていても加入できます。

交通災害共済加入申込書
新様式の見本



▶ 圧着した状態(はがきサイズ)



▶ 広げた状態

■お問い合わせ先
本庁 安全安心対策課
鶴田支所 鶴田総務係
薩摩支所 薩摩総務係

川内川激特・鶴田ダム再開発速報

【北薩地域振興局関連工事】

(平成24年1月6日現在)

- 山崎地区
 ・護岸、築堤工事(5件)
 ・山崎橋工事(1件)
 虎居、宮之城屋地地区
 ・宮都大橋工事(3件)
 ・宮之城橋工事(2件)

鶴田ダム



【国土交通省関連工事】

(平成24年1月6日現在)

- 激特事業関連工事 計2件
 荒瀬地区
 ・築堤護岸工事
 虎居地区
 ・築堤護岸工事
- 鶴田ダム再開発事業関連工事 計5件
 神子地区
 ・施設改造工事
 ・上流仮締切工事
 ・工事用道路関連工事
 ・護岸工事
 鶴田地区
 ・工事用道路関連工事

《今月の現場写真》 場所：鶴田ダム再開発事業

場所：ダム上流側、下流右岸側
 鶴田ダム堤体の上流側では、新しい放流管(増設)の穴を開けるため、潜水作業により、仮締切用の土台を造る工事を行っています。
 また、堤体下流の右岸側では、12月27日より、増設減勢工(放流水の勢いを弱める施設)の底盤部のコンクリート打設を開始しました。

【お知らせ】 工事により、鶴田ダム堰堤は平成24年2月29日(予定)まで通行止めになっています。通行止めの情報は下記のURL(鶴田ダム管理所HP)からも確認できます。http://www.qsr.mlit.go.jp/turuta/g1_damaccess/index.html



①潜水作業を開始しました

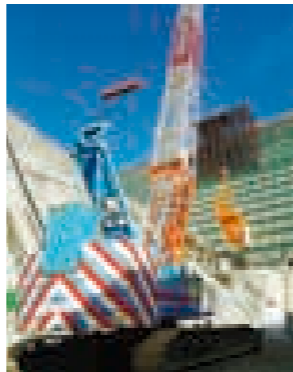
②コンクリート打設を開始しました

航空写真 平成23年12月撮影

現場見学スペースを設置！
 ダム本体右岸の大鶴ゆうゆう館と左岸の県道に工事概要パネルを設置し、見学スペースをつくりました。



潜水設備
 写真中央に写る設備は、S.D.C. といって潜水士が船上と作業水深の間を、作業水深と同じ気圧のまま昇降できる装置です。



コンクリート打設状況

■お問い合わせ先■

国土交通省川内川河川事務所 (0996)22-3271
 激特事業に関すること 工務課
 鶴田ダム再開発事業工事に関すること 工事課
 激特事業工事に関すること 宮之城出張所 (0996)53-1756

鹿児島県北薩地域振興局 建設部
 土木建築課 道路建設第2係 (0996)23-5151

平成24年7月9日外国人登録法が廃止され 新しい在留管理制度がはじまります

■お問い合わせ先
 町民課 町民係(内線2123)

外国人住民についても、日本人と同様に、住民基本台帳法の適用対象に加え、外国人住民の利便の増進及び行政の合理化を図るための「住民基本台帳法の一部を改正する法律」が、平成21年7月15日に公布されました。

住民基本台帳は住民に関する事務処理の基礎となるものであり、転入届などにより、国民健康保険など、各種行政サービスの届出との一本化が図られ手続きが簡素化されます。法務大臣と市町村長との情報のやりとりにより、外国人住民の方が法務省(地方入国管理局)と市町村にそれぞれ届出するといった負担は軽減されるようになります。

住民票を作成する対象になる外国人住民とは？

中長期在留者(在留カード交付対象者)
 ・「3月」以下の在留期間が決定された人
 ・「短期滞在」の在留資格が決定された人
 ・「外交」又は「公用」の在留資格が決定された人
 ・右記に準ずる者として法務省令で定める人

特別永住者の方 市町村へ
 ・(予定)中長期在留者の方 地方入管局へ

改正のポイント

入管法・住民基本台帳法の改正で、外国人住民も日本人住民と同様に住民票に記載されることとなります。



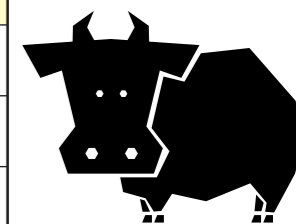
詳しくは、法務省または総務省のホームページをご覧ください。
 (多言語版での掲載もあります)

入管法改正について http://www.immi-nj.go.jp/newimmiact/newimmiact.html
 住民基本台帳制度 http://www.soumu.go.jp/main_sosiki/jichi_gyousei/c-gyousei/zaiyu.html

1月子牛せり市結果 期日：1月6日(金)

(消費税抜き、売却分)(単位：頭・円・kg)

性別	頭数	総売上高	最高価格	平均価格	平均体重	前回比(対12月分)
めす	227	99,714,000	811,000	439,269	278	54,969円安値
去勢	245	113,660,000	728,000	463,918	300	15,479円高値
合計	472	213,374,000	811,000	452,064	289	16,804円安値



■くらしの情報

町民課 町民係
内線2125

●年金相談

(事前に予約が必要です)
年金加入記録や受給手続きなどについての「移動年金相談所」を開設します。年金相談は、予約制です。年金の請求手続き及び質問や相談などがありましたら、2月15日(水)までに相談者氏名・基礎年金番号・相談内容等を役場本庁町民課町民係までお申し込みください。

必ず相談時間をご確認(ご予約)ください。予約した10分前にはご来場ください。
相談をされる方は、関係書類(年金手帳・年金証書・印鑑等)をお持ちください。

年金請求の方は、必要書類を事前に川内年金事務所にご確認ください。
本人確認書類(免許証等)をお持ちください。
なお、代理の場合は委任状と委任を受けた方であることが確認できる書類(免許証等)が必要です。

○相談日時
平成24年2月23日(木)
9時40分から15時まで
○相談会場
宮之城ひまわり館

教育委員会 総務課
Tel(52)1230

●さつま町奨学金制度について

高等学校(高等専門学校)、短期大学、専門学校、大学等に在籍し、経済的な理由により学費の支出が困難な方に対して、無利子で学費を貸与する奨学金貸付制度があります。

■奨学金の種類
普通奨学金
・公立高等学校及び専門学校に在学している方。
月額10,000円以内
・私立高等学校及び専門学校に在学している方。
月額20,000円以内
・大学及び専修学校に在学している方。
月額30,000円以内

農業自営者育成奨学金
・農業関係の高等学校又はこれと同等と認められる試験場・研究所などに在籍する方。
月額12,000円以内
・農業関係の大学又はこれと同等と認められる試験場・研究所などに在籍する方。
月額22,000円以内

■貸付条件など
・本町に住所を有する者の子弟であること。
・申請者の世帯の収入が、

○申込期日
2月15日(水)まで

○申込先 町民課 町民係
(内線2125)

●20歳になったら国民年金

国民年金は、すべての公的年金の基礎となるものです。日本国内にお住まいの20歳から60歳までの方は、公的年金に加入することが法律で義務づけられています。やがて訪れる長い老後や、生活の安定を損なうような「万が一」の事態に備え、保険料を出し合い、お互いを支えあう制度です。20歳になったら、忘れずに国民年金の加入手続きをしましょう。

●学生納付特例の手続きはお済みですか?

学生納付特例制度とは、前年所得が一定以下である20歳以上の学生の方が申請することにより保険料の納付が猶予される制度です。(年度毎に申請を行っていただく必要があります。)これは、将来、年金を受け取ることができなくなることや、不慮の事故等により重い障害が残ってしまった場合に、障害基礎年金を受け取ることができなくなることを等防止するためのものです。

福祉課 高齢福祉係
内線2131

●敬老商品券のご使用はお早めに!

80歳、90歳になられた方に贈呈しました「敬老商品券」の有効期限は、平成24年2月29日までです。まだ使用されていない方は、町内のお店でお早めにご使用ください。



この申請が承認されると、平成23年度の国民年金保険料の納付が猶予されます。

平成23年度の申請手続きがまだの方は、年金手帳・学生証または在学証明書・印鑑をお持ちのうえ役場の窓口か川内年金事務所窓口で手続きをしてください。

●国民年金保険料の納め忘れはありませんか?

国民年金保険料は、毎月10日までに納付する必要があります。保険料の納め忘れがあると、将来受け取る老齢基礎年金の額が少なくなったり、場合によっては年金が受けられなくなることがあります。また、万が一のときに障害基礎年金や遺族基礎年金を受けられなくなることがあります。平成23年度の国民年金保険料は、1月15日、020円です。

納めた保険料は、全額が社会保険料控除の対象となり、税金の負担が軽減されます。経済的な理由などで納付できない場合は、保険料免除制度があり、要件に該当すると保険料の納付が免除されます。役場(本庁・各支所)の年金係または川内年金事務所にご相談ください。

支所)の年金係または川内年金事務所にご相談ください。

お問い合わせ先
川内年金事務所
(22)5279

●「全国一斉法務局休日相談所」開設

平日に法務局の相談窓口等を利用できないお客様のために、左記のとおり相談所が開設されます。
日時 2月12日(日)
午前10時から午後4時
(ただし最終受付は午後3時30分までとなります)
場所 鹿児島地方法務局川内支局
相談内容 登記・戸籍・国籍・供託
人権問題等
相談員 鹿児島地方法務局川内支局職員・川内公証役場公証人
予約等 予約不要、相談料無料、秘密厳守
お問い合わせ先 鹿児島地方法務局川内支局
(22)2300

●耕林地業課 林務係

内線2431
●森林の所有者届出制度が4月からスタートします

昨年4月の森林法改正により、今年4月以降、森林の土地の所有者となった方は市町村長への事後届出が義務付けられました。

■届出対象者 個人・法人を問わず、売買や相続等により森林の土地を新たに取得した方は、面積に関わらず届出をしなければなりません。ただし、国土利用計画法に基づく土地売買契約の届出を提出している方は対象外です。

■届出期間 土地の所有者となった日から90日以内に、取得した土地のある市町村の長に届出をしてください。
■届出事項 届出書には、届出者と前所有者の住所氏名、所在者となった年月日、所有権移転の原因、土地の所在場所・面積とともに、土地の用途等を記載します。添付書類として、登記事項証明書(写しも可)又は土地売買契約書など権利を取得したことが分かる書類の写し、土地の位置を示す図面が必要です。

●お問い合わせ先

さつま町役場 耕林地業課 林務係(内線2431)
鹿児島県北薩地域振興局 林務担当
(25)5509

薩摩郡医師会病院診療案内 (H23.12.16~)

診療科	月	火	水	木	金	土
内科	神野	神野		神野	神野	
神経内科		花田	花田		花田	
救急科	益崎	益崎	益崎	益崎		
循環器内科			福岡	堀之内(第2・4)	早川	
消化器内科				倉元	倉元	
外科	緒方	緒方	緒方		緒方	大学
整形外科	海江田	海江田	海江田	海江田	吉松(原則第2・4)	
放射線科	林田	林田		林田	平木	

*50歳以上の方は、低線量CT肺がん検診が、3,150円で受診できます! 担当:外川内 (TEL0996-53-0326)

正社員・パート社員・アルバイト募集

職種:調理員 雇用形態:正社員 仕事内容:ゴルフ客の昼食・宿泊客の朝食夕食・婚礼・宴会 保険各種:厚生年金・健康保険・雇用保険 労災保険・交通費有 就業時間:6:00~22:00までの間の7時間就労 休日:月間6日 昇給有・賞与有・退職金有(3年以上の勤務者) 調理補助アルバイトも同時募集 4:30~9:30の5時間(週20時間以内)	職種:キャディ 雇用形態:パート 仕事内容:ゴルフ客の対応・ゴルフ業務補助・コース内清掃等 保険各種:厚生年金・健康保険・雇用保険 労災保険・交通費有 就業時間:8:00~18:00までの間の7時間就労 休日:月間6日	職種:レストラン・宴会ホールスタッフ 雇用形態:アルバイト 仕事内容:ゴルフ場・宴会・婚礼のサービス補助 保険各種:無し 就業時間:9:00~22:00までの間の7時間以内(週20時間以内)
---	---	---

(株)インターナショナルゴルフリゾート京セラ
〒895-2201 鹿児島県薩摩郡さつま町求名6122
TEL 0996-57-1313 FAX 0996-57-1151

ちくりんスタンプ会イベント情報

スタンプを貼り終えた台紙に、貼ってご利用ください。このシールを貼ってある台紙はスタンプシールをプラス10枚差し上げます。

新幹線 出水⇄博多 台紙18冊と交換	新幹線 川内⇄鹿児島 台紙5冊と交換
スタンプシールプラス10枚	タグシート(1,500円)台紙2冊と交換
有効期限 平成24年2月29日	ゴミ袋(2袋)台紙1冊と交換

詳細は、ちくりんスタンプ会まで ☎53-1141(町商工会内)

広告掲載料 ~ 広告を掲載しませんか? 広告主大募集! ~

・広報さつま 1枠 1万円(縦6.0cm x 横8.5cm)	・町ホームページ(行政サイト) 1月8,000円
・町公用封筒(定型封筒長型3号) 1枠 3万円(縦10.0cm x 横8.5cm)	・てんがらなび(住民交流サイト) 1月5,000円

詳しくは町ホームページをご覧ください。http://www.satsuma-net.jp/

がんばれ 認定農業者!! シリーズ 69

さつま町神子

栗野一三さん 54歳



栗野一三さんは、平成17年11月に認定農業者として認定されました。現在、生産牛10頭、水稲3.5haを経営されながら、農作業受託組織「神子アグリサービス」と「栗野防除組合」のスタッフとしても活動されています。「水稲では圃場が点在しているので、移動などに苦慮している、生産牛では一年一産のサイクルができるようにしたいが管理が難しい」と現状を話されます。今後は「TPP参加交渉の行方も心配され、農業を取り巻く環境の変化が懸念されるが、受託組織の仲間たちと話し合いながら乗り切っていきたい」と抱負を話してくださいました。

町長交際費執行状況 (12月分)

- 12月3日 100,000円 薩摩郡蚕業学校から薩摩中央高等学校まで学校創立100周年記念式典時
- 12月5日 28,350円 立地協定調印式時記念品(カイクンコーポレーション株)
- 12月5日 33,340円 立地協定調印式意見交換会時
- 12月21日 3,335円 町茶生産協会理事との交流会時
- 12月25日 3,200円 神子区公民館役員との交流会時
- 12月26日 11,642円 来客用(PR用)地元産品

さつまの日

毎月第3土曜日は「青少年育成の日」
毎月第3日曜日は「家庭の日」

町長の動静 (平成23年12月)

※主な会議及び行事を抜粋 (各課・局との内部会議は省略)

29日 (木)	町消防団年末特別警戒激励巡回(川原・船木・五日町・観月台・中央)	22日 (木)	最終本会議(最終日) 叙勲伝達(故 元宮之城町議会議長 東清邦氏) 町議会との交流会
28日 (水)	町消防団年末特別警戒激励巡回(川原・船木・五日町・観月台・中央)	21日 (水)	町茶生産協会理事との交流会 誘致企業会長面談
27日 (火)	退職者辞令交付式	20日 (火)	市町村職員共済組合との協議 県土改連第2回理事会(鹿児島市)
26日 (月)	農政連さつま支部からの要望受 教育委員との意見交換会	19日 (月)	太陽福祉センター総務部
25日 (日)	神子区役員との交流会	18日 (日)	中央公民会もちつき大会 あながわ集落営農組合収穫祭
23日 (金)	イルミネーションなかつこ点灯式	16日 (金)	新年度事業現場視察 町茶生産協会意見交換会
22日 (木)	町議会との交流会	15日 (木)	県飲料業組合さつま支部との意見交換 区公民館長連絡協議会懇話会
21日 (水)	町茶生産協会理事との交流会	14日 (水)	町ラグビー協会からの要望受(かぐや姫グラウンド関係) ワーカーズコープとの意見交換会 町公共交通対策会議
20日 (火)	市町村職員共済組合との協議	13日 (火)	JA北さつまからの要望受(畜産関係) 3役調整会議
19日 (月)	太陽福祉センター総務部	12日 (月)	常任委員会町長総括質疑 町ふどつ振興会総会
18日 (日)	中央公民会もちつき大会	11日 (日)	JA北さつまからの要望受(畜産関係) 3役調整会議
16日 (金)	新年度事業現場視察 町茶生産協会意見交換会	10日 (金)	年末年始の地域安全運動出発式 町消防団幹部 消防後援会合同交流会
15日 (木)	県飲料業組合さつま支部との意見交換 区公民館長連絡協議会懇話会	9日 (木)	本会議(一般質問2人)総括質疑
14日 (水)	町ラグビー協会からの要望受(かぐや姫グラウンド関係) ワーカーズコープとの意見交換会 町公共交通対策会議	8日 (水)	本会議(一般質問7人)
13日 (火)	JA北さつまからの要望受(畜産関係) 3役調整会議	7日 (火)	本会議(一般質問7人)
12日 (月)	常任委員会町長総括質疑 町ふどつ振興会総会	6日 (月)	庁舎建設検討委員会
11日 (日)	JA北さつまからの要望受(畜産関係) 3役調整会議	5日 (日)	カイクンコーポレーション(株)立地協定調印式
10日 (土)	町ラグビー協会からの要望受(かぐや姫グラウンド関係) ワーカーズコープとの意見交換会 町公共交通対策会議	4日 (土)	町グラウンドゴルフ大会 虎居区ふれあい文化祭
9日 (金)	年末年始の地域安全運動出発式 町消防団幹部 消防後援会合同交流会	3日 (金)	薩摩郡蚕業学校から薩摩中央高等学校まで学校創立100周年記念式典及び祝賀会
8日 (木)	本会議(一般質問2人)総括質疑	2日 (木)	土交通省、民主党委望本部、国会議員への陳情(東京都)
7日 (水)	本会議(一般質問7人)	1日 (水)	北薩空港幹線道路整備促進期成会、国道328号整備促進期成会による国土交通省、民主党委望本部、国会議員への陳情(東京都)
6日 (火)	庁舎建設検討委員会		
5日 (月)	カイクンコーポレーション(株)立地協定調印式		
4日 (日)	町グラウンドゴルフ大会 虎居区ふれあい文化祭		
3日 (土)	薩摩郡蚕業学校から薩摩中央高等学校まで学校創立100周年記念式典及び祝賀会		
2日 (金)	土交通省、民主党委望本部、国会議員への陳情(東京都)		
1日 (木)	北薩空港幹線道路整備促進期成会、国道328号整備促進期成会による国土交通省、民主党委望本部、国会議員への陳情(東京都)		

町長コラム

災害復興 日高政勝

平成18年7月のあの悲惨な東北豪雨災害から早くも5年6か月が経ちます。被災地区の皆様の艱難辛苦を乗り越えてのたくましい復興の気持ちを始め、多くの方々の心温まるご支援、国・県関係機関の絶大なご尽力のもと、力強くその復興が目に見える形になっていきます。あと、山崎橋・宮都大橋の架替、宮之城橋の延伸工事、そして一部の築堤、宅地の高上げ工事が残されていますが、本年度で河川激特事業は最終年度を迎えます。ダム再開発事業が平成27年度まで460億円の巨費を投じて、全国にも類を見ない工事が進められ、激特事業と併せこれらの完成によって、平成18年並みの洪水があっても外水氾濫は防止できるとされています。しかし、いづどこでどんな災害が起こるか分からないのが近年の気象状況です。早めの避難にこしたことはありません。激特工事の完成の暁、平成25年1月頃、被災地区住民の皆様合同での「災害復興祭」を開催して、更なる安全・安心のまちづくりを目指してまいります。

くらしの情報

お問い合わせ: さつま町役場 TEL (53) 1111 FAX (52) 3514

健康増進課 健康増進係

内線2144

健康診査日程

【2・3月分】

- 乳幼児健診・健康相談
 - 1歳7〜8か月児 (H22: 6生)
 - 2月15日(水) 午後0時30分〜午後1時 受付(宮之城保健センター)
 - 3歳児 (H20: 12生) 健診
 - 2月22日(水) 午後0時30分〜午後1時 受付(宮之城保健センター)
 - 2歳児健やか健康相談 (H22: 2生)
 - 3月1日(木) 午前9時〜午前9時30分 受付(宮之城保健センター)
 - 2歳6か月児健診 (H21: 8生)
 - 3月1日(木) 午後0時30分〜午後1時 受付(宮之城保健センター)
 - すくすく育児相談
 - 3月2日(金) 午前9時〜午前10時 受付(宮之城保健センター)
 - 7〜8か月児 (H23: 7生) 育児相談
 - 3月2日(金) 午後1時〜午後1時30分 受付(宮之城保健センター)
 - 4か月児 (H23: 10生) 健診
 - 3月14日(水)

母子健康手帳交付

2月27日(月)

3月12日(月) 午前9時30分〜午前11時 (宮之城保健センター) 健康保険証、印鑑をお持ちの上、ご夫婦でおいでください。

フツ化物塗布

2月15日(水)

2月22日(水) 3月1日(木) 午後3時〜午後4時 受付(宮之城保健センター) 総合健康相談 3月6日(火) 午前9時30分〜午前11時 (宮之城保健センター)



楽々健康ウォーク

2月12日(日)

永野ウォーキング大会に参加 春を探そうコース 2月25日(土) 午前8時 J A北さつま佐志支所出発

福祉課 福祉障害係

内線2135

● 心配ごと相談所 毎週木曜日 午前10時〜正午 宮之城ひまわり館 お問い合わせ先 町社会福祉協議会 ☎(52) 1123

総務課 広報文書係

内線2214

● 放送大学4月生募集 放送大学では、平成24年度第1学期(4月入学)の学生を募集中です。放送大学は、テレビやラジオの放送を通して学ぶ遠隔教育の大学です。心理学・福祉・経済・歴史・文学・自然科学など幅広い分野を学べます。働きながら学んで大学を卒業したい、学びを楽しみたいなど、様々な目的で幅広い世代、職業の方が学んでいます。

出願期限

平成24年2月29日まで

資料を無料で差し上げています。お気軽に、放送大学鹿児島学習センター(099・239・3811)までご請求ください。放送大学ホームページでも受け付けています。

税務課 収納第1係

内線2113

● 今月の納税など 国民健康保険税第8期 後期高齢者医療保険料第8期 介護保険料第8期 【納期限 2月29日】

税務課 町民税係

内線2112

● 軽自動車の課税について 軽自動車税は、毎年4月1日現在の軽自動車等の所有者に課税されます。廃車をしたり、他人に譲ったりした場合は、廃車・名義変更の手続きをする必要があります。特に、今春卒業する学生が使用しているバイク等の売買による廃車・名義変更の手続きについては、早めに済ませましょう。また、農作業用として使用しているコンバイン及びトラクタは、小型特殊自動車に該当します。町の標識(緑色ナンバー)の交付を受けていない方は早めに申告をされますようお願いいたします。

お問い合わせ先

本庁 税務課 町民税係 (内線2112)
鶴田支所 税務係 (内線4214)
薩摩支所 税務係 (内線6115)

総務課 秘書人事係

内線2212

● 退職者について 12月31日付け退職者をお知らせします。 服部百美子(学校給食センター 薩摩学校給食センター 調理員)

12月の火災・救急情報

○火災 発生件数	2件	○救急 出動件数	118件
内訳 建物	2件	運んだ人	114人
		内訳 急病	64件61人
		交通事故	1件1人
		その他	53件52人



パスポートの申請は 役場町民課へ

パスポートの申請・受領の窓口は役場町民課(本庁)になります。 町内の方は、県のパスポート窓口を原則利用できませんので、ご注意ください。



お問い合わせ先 町民課 町民係

がんばれ！スポーツ少年団 ⑦

創立8年、過去には
全国大会へも

盈進排球団スポーツ少年団は創立8年目で、昨年度は県大会で優勝し、全国大会に出場した実績もあります。団員は全て盈進小学校の男子児童で構成され、6年生2人、4年生2人、3年生3人、2年生1人、1年生1人の計9人と指導者3人で活動されています。

対戦相手への敬意と、仲間との信頼関係と支えてくれる人たちへの感謝の気持ちを忘れずに！

代表指導者の中島祥一さん(48)は、盈進排球団を指導されて4年になります。

中島さんは、「スポーツは一人ではできない、一緒に切磋琢磨する仲間と環境を整えてくれる周囲の人たちのためにも自分自身の努力と仲間との信頼関係のなかで、対戦相手への敬意と支えてくれる人たちへの感謝の気持ちを大切にするように指導しています」と方針を話されます。また、「少年団活動を通じてフェア



盈進排球団スポーツ少年団



プレーの精神に乗っ取り子供たちの成長と、周囲の人たち、地域の人たちなどを活気付けることができることに魅力を感じます」と話されました。

中学校に進学しても
バレーボールを
続けたい！

盈進排球団スポーツ少年団のキャプテンで盈進小学校6年の榎園大地くんは「ぼくは2年生から入団しています。試合や練習の時には監督・コーチから熱心な指導をしていただき、みんな一生懸命がんばっています。中学校に進学してもバレーボールを続けて、自分のポジションをしっかり守ることができるようになりたいです」と抱負を話してくれました。

誕生おめでとう

12月16日(1月15日届出分)(15人) 敬称略
あかちゃん 萌保護者 公民会

川元陽和	有馬一颯	中野悠里奈	川邊敬祐	東郷彩羽	東郷彩羽	東郷彩羽	小野原希歩	松下里愛	田頭幸大	上野優心	上野優心	瀬崎心愛	黒木優莉央	伊藤正宗
女	男	女	男	女	女	女	女	女	男	男	男	女	女	男
92	92	96	92	89	82	72	91	97	86	85	94	68	84	98
吉川	船木下	京塚原	船木西	須杭	別野	栗野	下平川	上下大迫	さくら	時吉新町	時吉中城	草田	上下大迫	二渡

おくやみ申し上げます

12月16日(1月15日届出分)(34人) 敬称略
なくなった人 年齢 公民会

久木田チリ	土屋裕己	宮脇クワ	戸越トク	祝迫兼祐	春田スミ子	町野静代	今村ツル	下大迫ミドリ	米良チミ子	東義人	中間一枝	新留勝子	下大迫浪子	久留アツ工	永徳宗孝	三角アツ子	中王子ナル	園畑生	那須律
92	53	96	92	89	82	72	91	97	86	85	94	68	84	98	57	89	89	77	96
吉川	船木下	京塚原	船木西	須杭	別野	栗野	下平川	上下大迫	さくら	時吉新町	時吉中城	草田	上下大迫	二渡	二渡	市場	紫尾上	大俣	新町

※「誕生・おくやみ」は、届出人が同意された方だけ掲載しています。

新原明	安藤龍平	榎山彪一	和泉忠秋	外園フチ	西園清光	小野原純雄	筒秀雄	白川未廣	宮之原トシ	鍋田孝昭	大迫勝	矢越芳浩	祝迫市正	須杭
89	9	93	84	88	69	81	88	91	90	68	74	51	70	70
西湯田原	中間	東町	上平川	上向中	大薄下	広橋	須杭	広瀬	ぼたる	東谷	中央	広橋	須杭	須杭



1歳で～す
毎月1番最初に
生まれた赤ちゃん
たしまさくひと
田島朔仁くん
平成23年2月2日生



父 和さん
母 広マヤさん
武白猿 公民会
両親から一言
元気で
たくましく育てね!

さつま町よかところファイル No.4

鬼火焚き (城之口公民会)



1月7日、秋葉グラウンド(宮之城屋敷)で恒例の「鬼火焚き」がありました。これは1年間の平穏と無病息災を願い、30年ほど前から城之口公民会が実施しているものです。闇夜にパチパチと竹のはじける音が響き、勢いよく炎が立ち昇り、澄み切った夜空に赤く火の粉が舞うと、大人も子供も不思議とわくわくした様子でした。炎の勢いが小さくなるにつれ、約40人ほどで囲んでいた輪も小さくなってきます。各自持ち寄った餅をおき火で焼くと、こんがり香ばしく格別に美味しいものでした。

餅が焼けるのを心待ちにしていた子供たちがやがて大人になり、五感で感じる「鬼火焚き」を懐かしいふるさとの思い出として心に刻んでくれたらいいですね。

途中、途絶えた時期もあつたようですが、小・中学生やその親たちをはじめ多くの方々の協力のもと、受け継がれ実施されてきた鬼火焚き。参加して、あらためて地域行事の意義を考えさせられたひと時でした。来年はもっと多くの方々に参加していただきたいと思っています。



介護保険課 介護保険係
上原 美由紀
介護保険給付に関する
担当をしています。

やまうち すぐる
山内 優くん

鶴田小学校 6年



たくさんの観客の中でホームランを打ちたい！

ぼくの将来の夢は、プロ野球選手になることです。ぼくは、2年生の頃から野球を始めて、プロ野球選手になりたいと思いました。5年生の頃初めてプロ野球の試合を見に行き、たくさんの観客の中でヒットやホームランを打つ所を見てあこがれを強く持ちました。今では、毎週3回の練習を大切にがんばっています。走りこみなどの体力づくりにも取り組んでいます。これからは、自分にきびしくしながら野球を続けていきたいです。



休日在宅医

2 月		
5日	相良医院	☎53-0160
11日	クオラハピリテーション病院	☎53-1704
12日	薩摩郡医師会病院	☎53-0326
19日	さくらクリニック	☎53-1451
26日	立志病院	☎55-9119
3 月		
4日	稲津病院	☎52-3355
11日	薩摩郡医師会病院	☎53-0326

休日薬局

2 月		
5日	うさぎ薬局	☎52-4116
11日	いむた薬局	☎31-8228
12日	青空薬局	☎52-0101
19日	きりん薬局	☎52-2033
26日	フタヤ薬局	☎59-2033
3 月		
4日	やまだ薬局	☎52-4585
11日	青空薬局	☎52-0101

わたしたちの町

推計人口による
 人口 23,758人 (-5人)
 男 11,017人 (-5人)
 女 12,741人 (±0人)
 世帯数 9,952世帯
 転入 57人 転出 38人
 出生 15人 死亡 39人
 (平成24年1月1日現在)
 ()は前月対比

※休日在宅医や薬局は都合により、変更になる場合があります。受診の際は、医療機関に電話で確認してください。町のホームページでも紹介しています。